



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月23日  
上場取引所 非上場

会社名 株式会社 但馬銀行  
 コード番号 — URL <http://www.tajimabank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 坪田 奈津樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森脇 正司 TEL 0796-24-2111  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	16,781	0.0	1,880	△0.2	1,211	8.4
2022年3月期	16,769	0.8	1,884	24.2	1,117	29.9

(注) 包括利益 2023年3月期 678百万円 ( - %) 2022年3月期 △134百万円 ( - %)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	15.17	—	2.6	0.1	11.2
2022年3月期	13.99	—	2.4	0.1	11.2

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 — 百万円 2022年3月期 — 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,356,709	46,043	3.3	571.56
2022年3月期	1,380,154	45,765	3.2	568.27

(参考) 自己資本 2023年3月期 45,654百万円 2022年3月期 45,390百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△50,340	467	△400	233,631
2022年3月期	48,893	△351	△400	283,902

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	35.7	0.8
2023年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	32.9	0.8
2024年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00		38.0	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	950	△16.3	650	△14.0	8.13
通期	1,500	△20.2	1,050	△13.3	13.14

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	79,875,000株	2022年3月期	79,875,000株
2023年3月期	—株	2022年3月期	—株
2023年3月期	79,874,999株	2022年3月期	79,874,879株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	14,124	0.3	1,830	1.3	1,195	9.4
2022年3月期	14,081	0.2	1,806	27.4	1,092	32.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	14.96	—
2022年3月期	13.67	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,356,683	44,980	3.3	563.13
2022年3月期	1,380,448	44,749	3.2	560.24

(参考) 自己資本 2023年3月期 44,980百万円 2022年3月期 44,749百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	900	△19.0	600	△19.8	7.51
通 期	1,450	△20.7	1,000	△16.3	12.51

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	4
(3) 連結株主資本等変動計算書	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業的前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. 個別財務諸表	12
(1) 貸借対照表	12
(2) 損益計算書	14
(3) 株主資本等変動計算書	15

※ 2022年度決算説明資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当期の経営成績)

当期におけるわが国経済は、資源価格上昇などの影響を受けながらも、新型コロナウイルス感染症の抑制と経済活動の両立が進むもとで、緩やかに持ち直しました。輸出や生産は、増加基調で推移していましたが、期末にかけて弱含み、横這い圏内の動きとなりました。設備投資は緩やかに増加し、公共投資は底堅く推移しました。また、個人消費は緩やかに増加しました。

金融面についてみますと、日本銀行は、2%の「物価安定の目標」の持続的な達成に向けて「長短金利操作付き量的質的金融緩和」の枠組みを維持するもとで、昨年12月に長期金利の変動幅の上限金利を0.25%程度から0.50%程度に拡大しました。

このような環境のもと、短期市場金利はマイナス領域で推移し、長期国債の流通利回りは、海外金利の上昇を受け、一時0.50%台まで上昇しましたが、期末には0.3%台となりました。日経平均株価は、世界的な金融引締めや日本銀行の金融政策変更による下押し圧力があつたものの、底堅く推移し、2万8千円台で越期しました。また、為替相場は、日米の金融政策の違いから、対米ドルで一時150円台まで円安が進みましたが、その後円高へ修正され、期末には133円台となりました。

次に県内経済をみますと、輸出は増加基調で推移し、生産は持ち直しの動きとなりました。設備投資は堅調に推移した一方で、公共投資は弱めの動きとなりました。個人消費は、緩やかに持ち直しました。地場産業は、社会経済活動が正常化に向かうなかで、豊岡靴は受注の回復がみられ、城崎温泉など県内の観光地の入込客数は回復の兆しがみられました。

以上のような金融経済環境のなか、当行グループは役職員一致協力して地域に密着した営業活動と経営の効率化に努めました結果、当連結会計年度の損益は、経常収益が前連結会計年度比11百万円増加して167億81百万円となったものの、経常費用が前連結会計年度比15百万円増加して149億円となったことから、経常利益は前連結会計年度比3百万円減少して18億80百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は特別損失が減少したことから前連結会計年度比94百万円増加して12億11百万円となりました。

#### (2024年3月期の見通し)

2024年3月期につきましては、厳しい収益環境が続くことが予想されますが、当行グループは、引き続き地域に密着した営業活動を展開するとともに、経営の効率化と収益力の強化を図ることにより、連結ベースの経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億50百万円を見込んでおります。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産・負債の状況)

預金は、安定した取引基盤の拡充と預金の増強に積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比133億42百万円増加して1兆1,539億62百万円となりました。

貸出金は、地域の事業者向け貸出や住宅ローンの増強などに積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比289億21百万円増加して9,567億6百万円となりました。

有価証券は、資産の流動性の確保と資金の安全性を重視し、国債・地方債を中心に将来の市場変動に配慮した運用に努めました結果、前連結会計年度末比27億29百万円減少して1,328億39百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比502億70百万円減少して2,336億31百万円となりました。

##### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、借入金等の減少等により503億40百万円の支出（前連結会計年度は488億93百万円の収入）となりました。

##### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、有価証券の売却・償還による収入が取得による支出を上回ったことにより4億67百万円の収入（前連結会計年度は3億51百万円の支出）となりました。

##### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、前連結会計年度と同様に配当金の支払等により4億円の支出となりました。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループの業務は日本国内に限定されており、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	286,316	235,721
コールローン及び買入手形	797	928
買入金銭債権	1,001	1,064
有価証券	135,568	132,839
貸出金	927,785	956,706
外国為替	965	1,756
リース債権及びリース投資資産	5,914	6,153
その他資産	9,146	9,027
有形固定資産	15,195	15,500
建物	3,986	4,732
土地	9,789	9,789
建設仮勘定	338	21
その他の有形固定資産	1,080	956
無形固定資産	768	683
ソフトウェア	751	647
その他の無形固定資産	16	36
繰延税金資産	10	63
支払承諾見返	485	574
貸倒引当金	△3,800	△4,309
<b>資産の部合計</b>	<b>1,380,154</b>	<b>1,356,709</b>
<b>負債の部</b>		
預金	1,140,619	1,153,962
借入金	184,075	147,401
外国為替	10	26
その他負債	5,988	5,823
役員賞与引当金	5	5
退職給付に係る負債	1,828	1,752
役員退職慰労引当金	302	336
睡眠預金払戻損失引当金	52	19
偶発損失引当金	37	41
繰延税金負債	266	6
再評価に係る繰延税金負債	716	716
支払承諾	485	574
<b>負債の部合計</b>	<b>1,334,388</b>	<b>1,310,666</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
利益剰余金	32,517	33,330
株主資本合計	39,486	40,299
その他有価証券評価差額金	4,780	4,215
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,115	1,115
退職給付に係る調整累計額	7	23
その他の包括利益累計額合計	5,904	5,354
非支配株主持分	374	389
<b>純資産の部合計</b>	<b>45,765</b>	<b>46,043</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,380,154</b>	<b>1,356,709</b>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
経常収益	16,769	16,781
資金運用収益	10,314	10,418
貸出金利息	9,379	9,383
有価証券利息配当金	730	750
コールローン利息及び買入手形利息	2	23
預け金利息	200	257
その他の受入利息	1	3
役務取引等収益	3,335	3,323
その他業務収益	2,877	2,856
その他経常収益	242	182
償却債権取立益	22	11
その他の経常収益	219	171
経常費用	14,885	14,900
資金調達費用	247	196
預金利息	247	193
債券貸借取引支払利息	0	1
借用金利息	0	0
その他の支払利息	0	1
役務取引等費用	1,989	1,988
その他業務費用	2,533	2,757
営業経費	9,326	9,220
その他経常費用	789	736
貸倒引当金繰入額	714	647
その他の経常費用	74	88
経常利益	1,884	1,880
特別損失	190	44
固定資産処分損	69	7
減損損失	121	37
税金等調整前当期純利益	1,693	1,835
法人税、住民税及び事業税	666	667
法人税等調整額	△116	△59
法人税等合計	550	607
当期純利益	1,143	1,228
非支配株主に帰属する当期純利益	26	16
親会社株主に帰属する当期純利益	1,117	1,211

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,143	1,228
その他の包括利益	△1,277	△549
その他有価証券評価差額金	△1,291	△564
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整額	13	15
包括利益	△134	678
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△160	662
非支配株主に係る包括利益	26	16

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	31,794	—	38,763
会計方針の変更による 累積的影響額			△20		△20
会計方針の変更を 反映した当期首残高	5,481	1,487	31,774	—	38,743
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,117		1,117
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		0	0
土地再評価差額金の取崩			25		25
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	743	—	743
当期末残高	5,481	1,487	32,517	—	39,486

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差 額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	6,071	0	1,141	△5	7,207	349	46,320
会計方針の変更による 累積的影響額							△20
会計方針の変更を 反映した当期首残高	6,071	0	1,141	△5	7,207	349	46,300
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,117
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							25
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,291	0	△25	13	△1,303	24	△1,278
当期変動額合計	△1,291	0	△25	13	△1,303	24	△534
当期末残高	4,780	0	1,115	7	5,904	374	45,765

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	32,517	—	39,486
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,211		1,211
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				0	0
土地再評価差額金の取崩					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	812	—	812
当期末残高	5,481	1,487	33,330	—	40,299

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差 額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	4,780	0	1,115	7	5,904	374	45,765
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,211
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△564	0	—	15	△549	15	△534
当期変動額合計	△564	0	—	15	△549	15	278
当期末残高	4,215	0	1,115	23	5,354	389	46,043

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,693	1,835
減価償却費	769	773
減損損失	121	37
貸倒引当金の増減(△)	618	509
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	0	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△45	△53
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18	33
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△15	△33
偶発損失引当金の増減(△)	△32	3
資金運用収益	△10,314	△10,418
資金調達費用	247	196
有価証券関係損益(△)	9	277
為替差損益(△は益)	△2	△2
固定資産処分損益(△は益)	68	7
貸出金の純増(△)減	△25,154	△28,921
預金の純増減(△)	14,178	13,342
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	53,100	△36,674
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	44	323
コールローン等の純増(△)減	△114	△194
外国為替(資産)の純増(△)減	103	△790
外国為替(負債)の純増減(△)	6	15
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	75	△239
資金運用による収入	10,456	10,544
資金調達による支出	△269	△228
その他	4,037	10
小計	49,565	△49,643
法人税等の支払額	△671	△697
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,893	△50,340
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△24,962	△32,642
有価証券の売却による収入	175	12,834
有価証券の償還による収入	25,088	21,337
有形固定資産の取得による支出	△483	△890
有形固定資産の除却による支出	△24	△71
有形固定資産の売却による収入	62	30
無形固定資産の取得による支出	△206	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△351	467
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△399	△399
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	△400
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	48,143	△50,270
現金及び現金同等物の期首残高	235,759	283,902
現金及び現金同等物の期末残高	283,902	233,631

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

したがって、当行グループは銀行業務を基礎とした金融サービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、一般的な取引と同様の条件で行っております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
顧客との契約から生じる収益	3,323	—	3,323	—	3,323	—	3,323
その他の収益	10,653	2,765	13,418	38	13,457	—	13,457
外部顧客に対する経常収益	13,977	2,765	16,742	38	16,781	—	16,781
セグメント間の内部経常収益	146	296	443	37	480	△480	—
計	14,124	3,061	17,185	75	17,261	△480	16,781
セグメント利益	1,830	48	1,879	2	1,881	△1	1,880
セグメント資産	1,356,683	8,491	1,365,175	213	1,365,389	△8,679	1,356,709
セグメント負債	1,311,703	7,711	1,319,414	32	1,319,447	△8,781	1,310,666
その他の項目							
減価償却費	765	8	774	—	774	△0	773
資金運用収益	10,488	0	10,488	0	10,488	△70	10,418
資金調達費用	236	69	305	—	305	△108	196
特別損失	44	—	44	—	44	△0	44
(固定資産処分損)	7	—	7	—	7	△0	7
(減損損失)	37	—	37	—	37	—	37
税金費用	590	15	606	0	607	△0	607
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,320	2	1,322	—	1,322	—	1,322

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額の差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業、不動産賃貸業等であります。

3. 「顧客との契約から生じる収益」には、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」の対象外の収益も含まれております。

4. 「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別損失」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。

5. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定及びソフトウェア仮勘定の増加額は含めておりません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	571円56銭
1株当たり当期純利益	15円17銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	46,043
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	389
(うち非支配株主持分)	(389)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	45,654
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	79,875

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,211
普通株主に帰属しない金額	百万円	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益	百万円	1,211
普通株式の期中平均株式数	千株	79,874

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	286,316	235,721
現金	22,027	20,356
預け金	264,288	215,365
コールローン	797	928
買入金銭債権	1,001	1,064
有価証券	135,643	132,914
国債	49,978	39,955
地方債	58,330	68,199
社債	14,853	12,061
株式	11,832	11,907
その他の証券	647	790
貸出金	934,840	963,816
割引手形	1,251	1,602
手形貸付	15,527	15,907
証書貸付	890,713	920,021
当座貸越	27,348	26,285
外国為替	965	1,756
外国他店預け	894	1,665
買入外国為替	2	49
取立外国為替	68	41
その他資産	8,246	7,980
前払費用	24	20
未収収益	940	944
金融派生商品	34	33
その他の資産	7,247	6,981
有形固定資産	15,137	15,425
建物	3,996	4,741
土地	9,614	9,614
リース資産	908	731
建設仮勘定	338	21
その他の有形固定資産	278	316
無形固定資産	789	702
ソフトウェア	429	393
リース資産	343	271
その他の無形固定資産	16	36
繰延税金資産	—	65
支払承諾見返	485	574
貸倒引当金	△3,774	△4,264
資産の部合計	1,380,448	1,356,683

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
預金	1,141,137	1,154,430
当座預金	41,527	39,240
普通預金	577,401	609,036
貯蓄預金	9,834	9,591
通知預金	1,448	1,747
定期預金	500,806	483,434
定期積金	5,410	6,869
その他の預金	4,708	4,511
借入金	184,005	147,391
借入金	184,005	147,391
外国為替	10	26
売渡外国為替	2	—
未払外国為替	8	26
その他負債	6,854	6,380
未払法人税等	381	352
未払費用	305	274
前受収益	199	208
給付補填備金	0	0
金融派生商品	26	22
リース債務	1,435	1,166
資産除去債務	39	39
その他の負債	4,466	4,315
役員賞与引当金	5	5
退職給付引当金	1,834	1,781
役員退職慰労引当金	302	336
睡眠預金払戻損失引当金	52	19
偶発損失引当金	37	41
繰延税金負債	256	—
再評価に係る繰延税金負債	716	716
支払承諾	485	574
負債の部合計	1,335,699	1,311,703
<b>純資産の部</b>		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
資本準備金	1,487	1,487
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	31,883	32,679
利益準備金	3,993	3,993
その他利益剰余金	27,890	28,686
別途積立金	26,737	27,437
繰越利益剰余金	1,153	1,249
株主資本合計	38,853	39,648
その他有価証券評価差額金	4,780	4,215
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,115	1,115
評価・換算差額等合計	5,896	5,331
純資産の部合計	44,749	44,980
負債及び純資産の部合計	1,380,448	1,356,683

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
経常収益	14,081	14,124
資金運用収益	10,383	10,488
貸出金利息	9,447	9,452
有価証券利息配当金	732	751
コールローン利息	2	23
預け金利息	200	257
その他の受入利息	1	3
役務取引等収益	3,365	3,353
受入為替手数料	664	523
その他の役務収益	2,700	2,829
その他業務収益	47	52
外国為替売買益	46	50
商品有価証券売買益	0	2
その他経常収益	285	228
償却債権取立益	22	11
その他の経常収益	262	217
経常費用	12,275	12,293
資金調達費用	294	236
預金利息	247	193
債券貸借取引支払利息	0	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	47	40
役務取引等費用	1,989	1,988
支払為替手数料	114	55
その他の役務費用	1,874	1,933
その他業務費用	—	244
国債等債券売却損	—	244
営業経費	9,209	9,108
その他経常費用	782	715
貸倒引当金繰入額	708	627
貸出金償却	54	25
株式等売却損	8	—
株式等償却	—	18
その他の経常費用	11	43
経常利益	1,806	1,830
特別損失	190	44
固定資産処分損	69	7
減損損失	121	37
税引前当期純利益	1,615	1,785
法人税、住民税及び事業税	645	652
法人税等調整額	△122	△61
法人税等合計	523	590
当期純利益	1,092	1,195

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	26,337	855	31,186
会計方針の変更による 累積的影響額							△20	△20
会計方針の変更を 反映した当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	26,337	835	31,165
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						400	△400	—
当期純利益							1,092	1,092
自己株式の取得								
自己株式の処分			△0	△0				
土地再評価差額金の取崩							25	25
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	△0	△0	—	400	318	718
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	26,737	1,153	31,883

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	—	38,155	6,071	0	1,141	7,212	45,368
会計方針の変更による 累積的影響額		△20					△20
会計方針の変更を 反映した当期首残高	—	38,135	6,071	0	1,141	7,212	45,347
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,092					1,092
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	0	0					0
土地再評価差額金の取崩		25					25
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△1,291	0	△25	△1,316	△1,316
当期変動額合計	—	718	△1,291	0	△25	△1,316	△598
当期末残高	—	38,853	4,780	0	1,115	5,896	44,749

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	26,737	1,153	31,883
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						700	△700	—
当期純利益							1,195	1,195
自己株式の取得								
自己株式の処分								
土地再評価差額金の取崩								
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	700	95	795
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	27,437	1,249	32,679

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	—	38,853	4,780	0	1,115	5,896	44,749
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,195					1,195
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	0	0					0
土地再評価差額金の取崩		—					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△564	0	—	△564	△564
当期変動額合計	—	795	△564	0	—	△564	230
当期末残高	—	39,648	4,215	0	1,115	5,331	44,980